

三重の良さは幕の内弁当？



県庁所在地という

と、多くの方は県内最大の都市という認識を持っていないだろうか。

総務省が毎年7月に公表している住民基本台帳人口（1月1日時点）によると、都道府県庁所在地の人口が3割以上を占めるところは26、2割以上だと38

にものぼる。中でも東京都は特別区（23区）、京都府は京都市の人口割合がそれぞれ5割を超える。

一方、三重県の県庁所在地である津市は人口約28万人で県内2位、県全体に占める人口割合は15・3%となっている。1位は四日市市で約31万人（17・1%）、3位は鈴鹿市の約20万人（11・0%）と続く。

都道府県庁所在地の人口割合を全国で見ると、津市は低い方から4番目だ。茨城県の水戸市が9・3%で最も低く、山口市の13・9%、福島市の14・7%と続く。

県外の来訪者から、「県庁所在地は四日市？」とか「津駅で降りたら寂しかった」との声を

※総務省の住民基本台帳人口（平成31年1月1日）から

都道府県庁所在地の人口比率

順位	%	自治体	人口
1	69.0	東京都特別区	948万6618人
2	55.3	京都市	141万2570人
3	46.1	仙台市	106万2585人
4	46.0	高知市	33万 167人
5	43.4	高松市	42万8296人
		：	
43	15.4	千葉市	97万 49人
44	15.3	津市	27万9802人
45	14.7	福島市	27万9307人
46	13.9	山口市	19万2246人
47	9.3	水戸市	27万2485人

聞くこともある。一方で、津市には三重大学や三重県総合文化センター、県立図書館、三重県総合博物館などの学術・文化施設が充実している。また、近鉄や高速道路による名古屋や大阪へのアクセスも良好で、非常に住みやすいとの実感がある。

県内には他県のような一極集中の大都市はないもの、お伊勢参りに端を発した街道・宿場町の名残で同規模の街並みが等間隔にみられ、工業から農林水産、観光まで、さまざまな特色を持った市町が連なる。三重県は「幕の内弁当」のような組み合わせの妙で、どこにいてもそれなりに住みやすいことが、最大の良さではないだろうか。

（主任研究員 安岡優）